

「将来の壮瞥町農業についてのアンケート調査」結果報告

壮瞥町経済環境課

平成29年3月

〈アンケート調査の概要〉

○調査の概要

壮瞥町では、今後、さらに農業就業者の高齢化、減少が予想され、遊休農地の増加が懸念されています。このような中、今後も壮瞥町において農業を維持し、農地を保全するため、新規就農者の受入や、企業の参入、または、担い手農家の規模拡大等、5年、10年後の「将来の壮瞥町農業」を真剣に考える必要があります。そのため、壮瞥町農業の課題の把握と、今後の対策を検討するために、農業者等を対象にアンケート調査を行いました。

○調査の対象

壮瞥町内の農業経営者
(農業生産法人の構成員を除く)

○調査方法

無記名式アンケート調査

○調査の期間

平成28年11月～平成28年12月
(調査基準日:平成28年11月末時点)

○回答状況

| | |
|---------|------|
| 配布戸数(戸) | 135 |
| 回収戸数(戸) | 70 |
| 回収率(%) | 51.9 |

○回答者の平均年齢

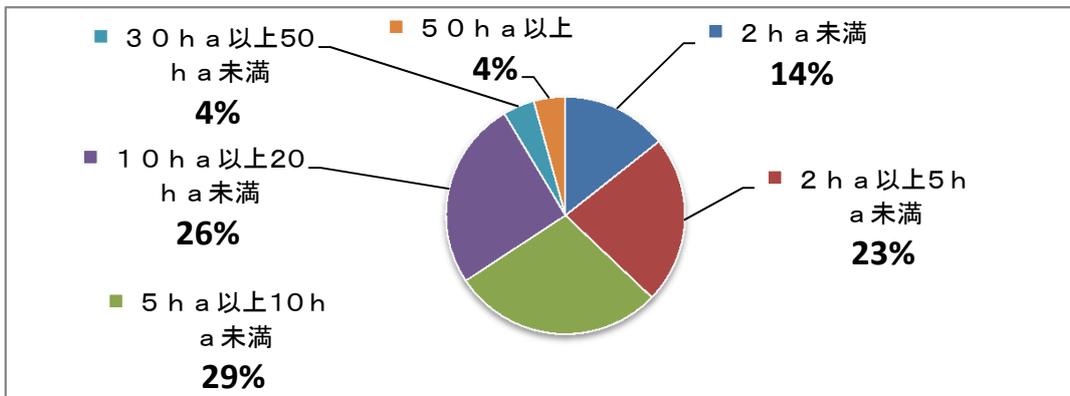
59.4歳

①問1 あなたの農業経営規模を次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

【概要】

経営面積は北海道全体で1経営体当たり10ha以上が60%を超えているのに対し、壮瞥町は34%程度であり、経営面積10ha未満の経営体が66%で、狭小な経営面積の経営体が多い。

【集計・グラフ】

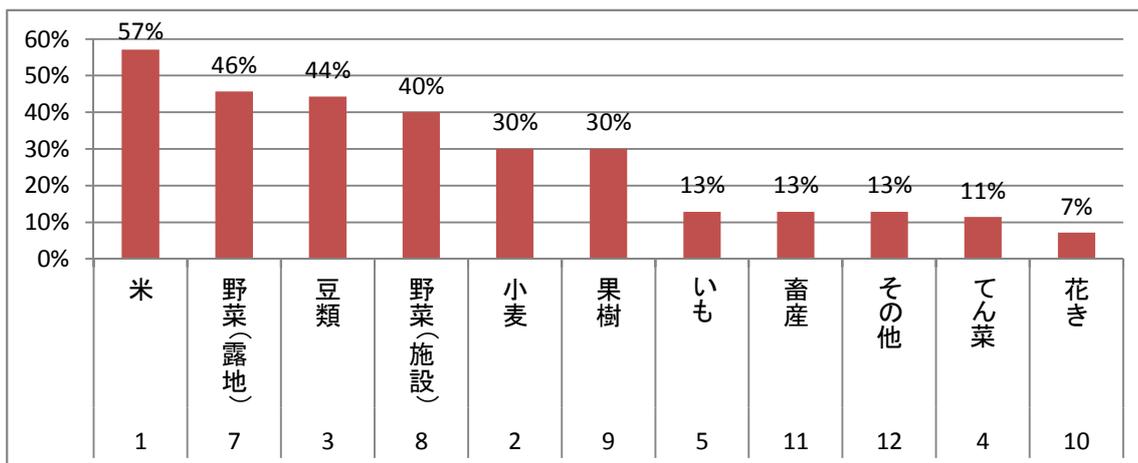


②問2 あなたが作付している農作物を次の中から選んで番号に○をしてください。(複数可)

【概要】

米が最も多く、約6割近くの農業者等が作付けし、次いで、露地野菜、豆類が4割を超え、施設野菜も4割が生産している。その他、小麦、果樹は3割が生産を行っており、他の作物も1割程度と、多種多様な作物が生産されている。北海道全体の複合経営経営体が4割程度であるのに対し、壮瞥町の複合経営経営体数は回答者全体の8割を占めている。

【集計・グラフ】

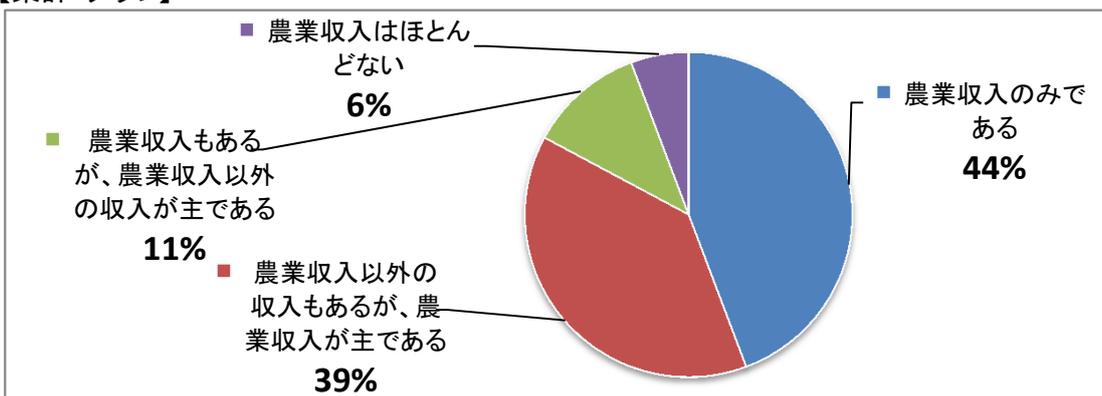


③問4 あなたの家計に占める農業収入を次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

【概要】

農業収入が主である主業農家は、回答者全体の83%、農業収入以外の収入が主である準主業農家は11%程度、農業収入がほとんどない副業的農家は6%あり、農業経営体のほとんどが農業を主に生計を立てている。

【集計・グラフ】



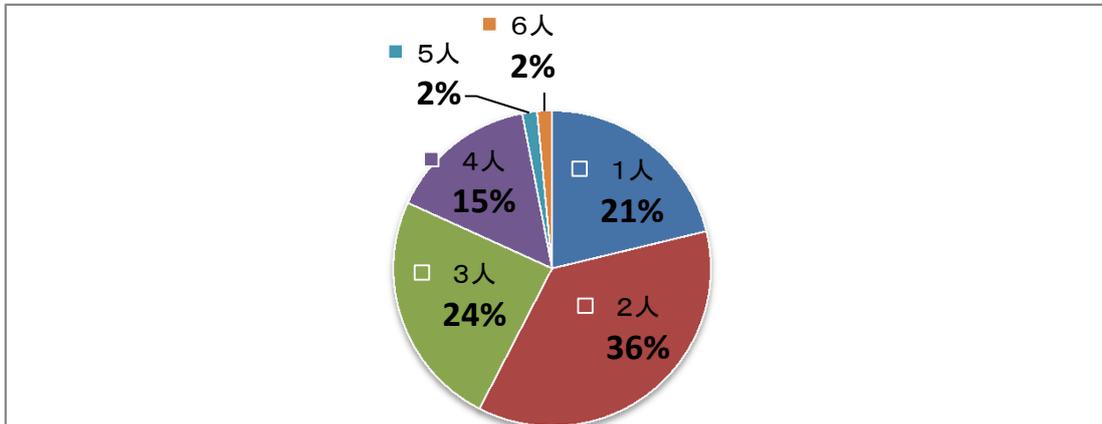
④問5 あなたの家族で概ね年間150日以上農業に従事している方はあなたも含め、何人いますか。(パート含まず)

【概要】

1経営体当たりの農業従事者数は、2人の割合が最も多く36%。平均すると1経営体当たり約2.4人が農業に従事している。

北海道の年間150日以上農業に従事している人数の平均は1経営体当たり1.9人であり、当町を含め家族経営が大半を占めている。

【集計・グラフ】



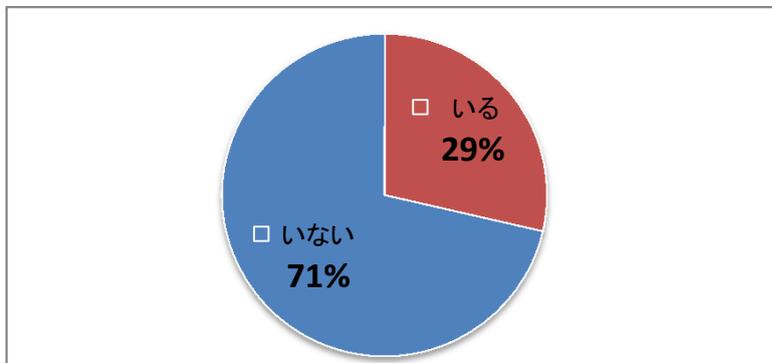
⑤問6 あなたには後継者はいますか。次のいずれかを選んで番号に○をしてください。

【概要】

経営者の平均年齢が59.4歳で、そのうち7割が後継者がいない状況となっている。

2015年農林業センサスでは農業従事者に占める70歳以上の従事者は37%を占め、このままでは将来、壮瞥町農業の存続が厳しい状況であることがわかる。

【集計・グラフ】

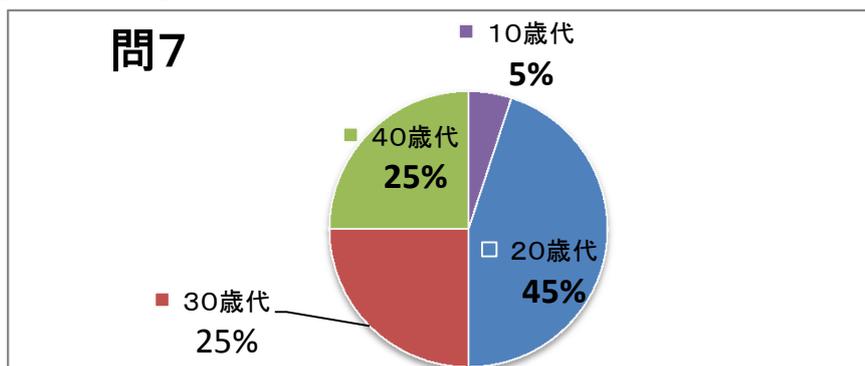


⑥問7 問6で、後継者がいるを選んだ方にお尋ねします。後継者の年齢は次のうちどれですか。

【概要】

後継者の年齢については、20歳代が最も多く、30代、40代が残りの半数であり、後継者だけに注目すれば、5年後、10年後も現在と同程度農業に従事できると予想される。

【集計・グラフ】

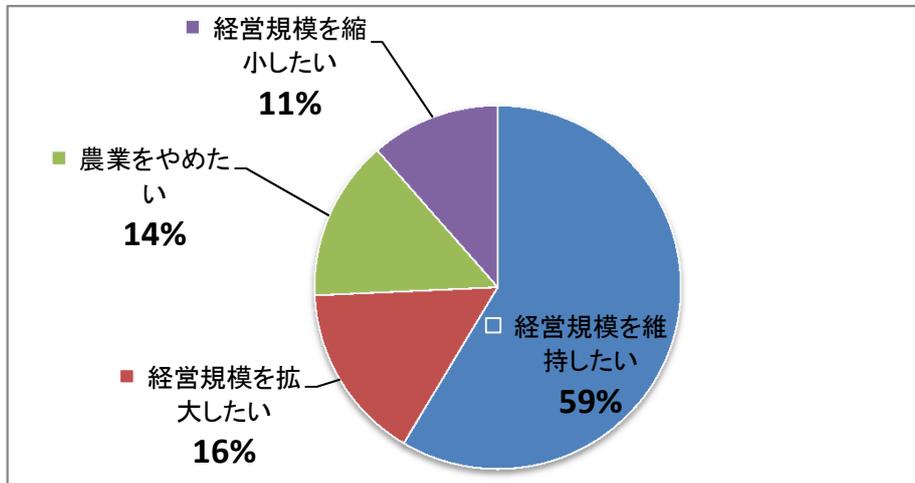


⑦問8 あなたの5年後の経営規模について、どのように考えていますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。また、拡大縮小する規模と主な農作物名も記入してください。

【概要】

5年後の経営規模について、現状維持と回答した農業者等が全体の6割を占め、規模拡大したいと回答した農業者等が16%で、拡大したい面積の合計は137.5haであった。一方、縮小したい、又は農業をやめたいと回答した農業者等がそれぞれ11%、14%、縮小したい面積の合計は115.7haであった。

【集計・グラフ】

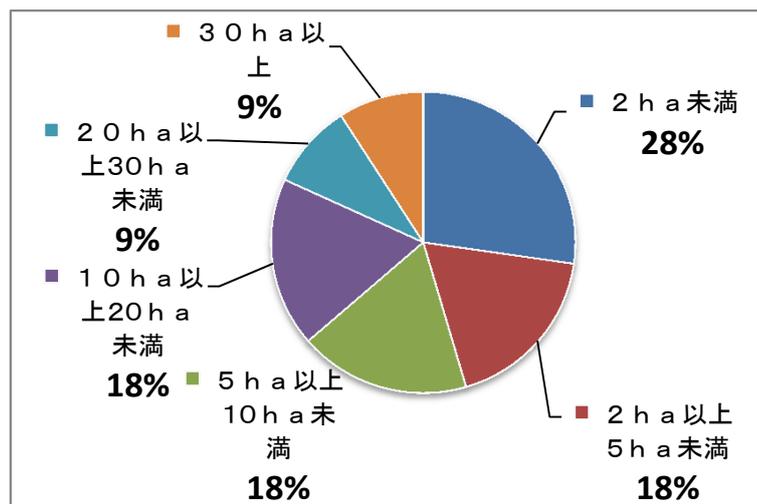


⑧問8で規模を拡大したいと回答した人の意向
回答者: 11人

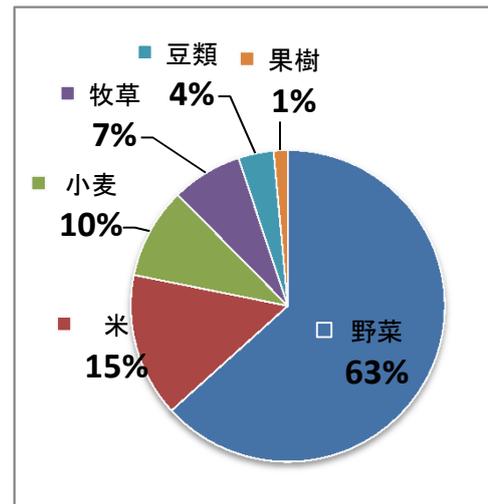
【概要】

5年後の経営規模について拡大したいと回答した農業者等のうち、拡大面積2ha以上5ha未満と回答した者が最も多く28%であった。また、30ha以上の面積拡大を考えている農業者も18%と多く、合計137.5haの規模拡大が図られる。拡大したい作物では野菜が最も多く、拡大面積の63%を占めている。その他は米、小麦等、機械化でき、省力化を図ることができる作物の規模拡大が図られる傾向にある。

(1) 拡大したい面積



(2) 拡大したい作物(面積割合)



拡大面積合計 137.5ha

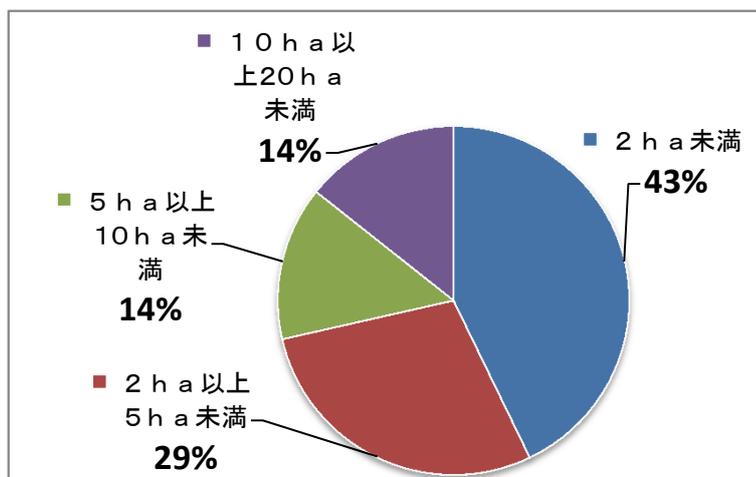
⑨問8で規模を縮小したい又は農業をやめたいと回答した人の意向
回答者：7人

【概要】

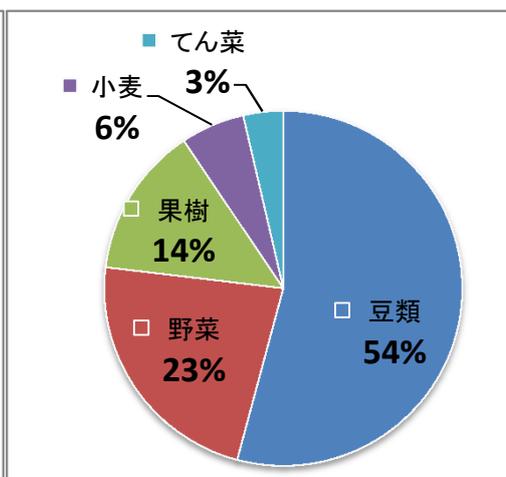
5年後の経営規模について縮小したいと回答した農業者等のうち、縮小面積2ha未満と回答した者が最も多く43%であった。次いで2ha以上5ha未満が29%となっており、大幅に縮小するというよりも、1、2品目だけ、縮小し省力化を図るという傾向にあり、計27.7haの規模縮小が見込まれる。縮小したい作物では豆類が最も多く、縮小面積の54%を占めている。機械化を図れず、作業に手間のかかる菜豆の規模を縮小していくという傾向にある。その他は野菜、果樹等の規模縮小を考えている農業者等が多かった。

農業をやめたいと回答した農業者等は全体の14%で、うち、80%が経営規模10ha未満の農業者等であり、合計で約88haの農地が耕作されなくなる。よって、5年後の縮小面積の合計は約115.7haとなり、早急な対応が必要である。

(1)縮小したい面積



(2)縮小したい作物



縮小面積 27.7ha

(3)農業をやめたいと回答した農業者等の経営面積
合計88ha
うち80%が経営面積10ha未満の農業者。

縮小面積合計 115.7ha

⑩問9 問8で、「経営規模を縮小したい又は農業をやめたい」を選んだ方にお尋ねします。その理由について記入してください。

【概要】

経営規模を縮小したい又は農業をやめたいと回答した農業者等の平均年齢は67歳と高く、理由としても、高齢のためと回答した農業者等が多い傾向にある。その他の理由としては、後継者不足や農業の先行き不安を理由としている農業者等がみられた。

回答(回答数12、回答率67%)

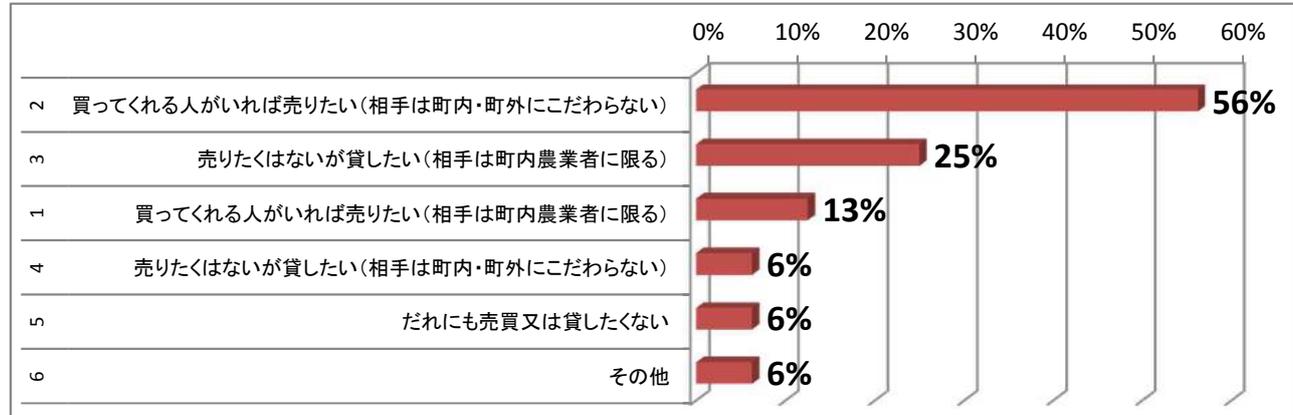
- ・後継者がいない。高齢。(60代)
- ・年齢と体力的に無理だと思う。また、妻の農業従事が困難。(60代)
- ・高齢のため。後継者がいない。(80代)
- ・経営困難(60代)
- ・祖父母が高齢のため。(30代)
- ・高齢のため。(80代)
- ・高齢のため(70代)
- ・高齢のため(60代)
- ・高齢のため。露地作物は困難。(60代)
- ・後継者がいないため。(70代)
- ・後継者がいない。(70代)
- ・体がきつい。先行きが不安。気候が不安定。(60代)

⑪問10 問8で、「経営規模を縮小したい又は農業をやめたい」を選んだ方にお尋ねします。耕作しなくなる農地をどのようにしたいですか。次の中から選んで番号に○をしてください。(複数可)

【概要】

耕作しなくなる農地について、売りたいと希望する人が69%で、そのうち、相手にこだわらない人が80%を占めた。貸したいと希望する人が31%で、そのうち、相手にこだわらない人は20%程であった。耕作しなくなる農地について、他の農業者等に耕作してもらい有効活用を図りたいと考えている農業者等が多い傾向にあった。

【集計・グラフ】

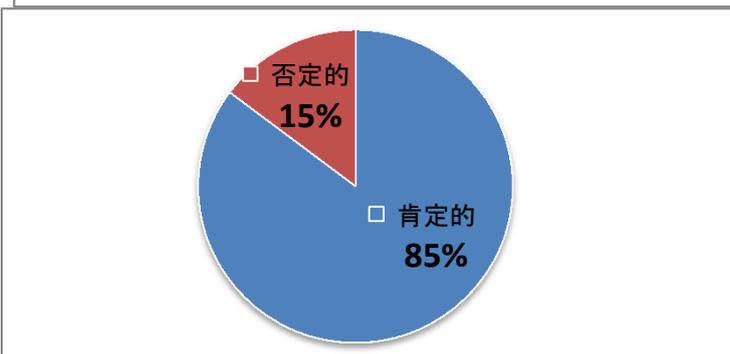
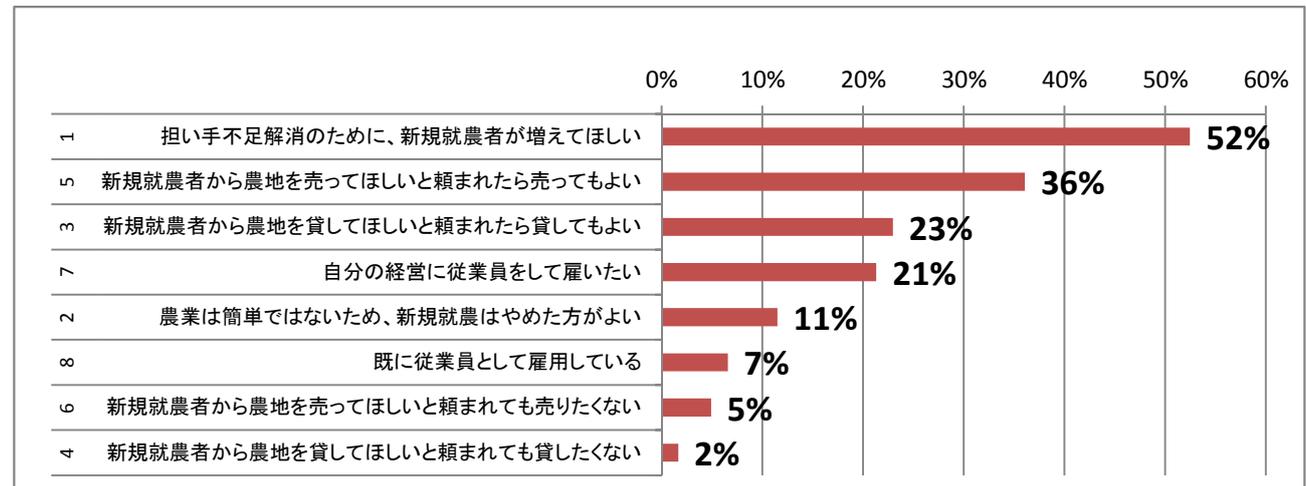


⑫問11 2015年農林業センサスの結果では、壮瞥町の総農家数が153戸となっており、2010年から9戸減少し、平均年齢は58.6歳から60.2歳と1.6歳上がっています。このような中、新規就農者の受入を強化することも1つの対策となり得ますが、新規就農者に対してあなたはどのように考えていますか。次の中から選んで番号に○をしてください。(複数可)

【概要】

回答者の半数以上が新規就農者の受入が欠かせないと考えている。また、農地を貸してもよい、売ってもよい、雇いたい等、新規就農者の受入について肯定的に考えている農業者等の割合が85%と非常に高く、新規就農者の受入が担い手対策として期待されていることがわかる。

【集計・グラフ】



⑬問12 今後、行政等が新規就農者の受入等の強化を行うとした場合、あなたは、そのことについてどのように思いますか。また、担い手対策としてどのような対策が必要と思いますか。自由にご記入ください。

回答(回答数29、回答率41%)

- 町内のように1区画当たりが狭い農地では規模を大きくしたくても限界がある。就農者が生活できる収入を確保できるような作物、販売先の確保等、行政も支援できるような対策をしないと新規就農者も難しい。
- 町内で数年間、実習を積んだ新規就農者に対して農地を無償で貸与し、5年間営農を続けその後も営農する意志のある者に農地を贈与したらどうか。親から農地を譲り受けても、収支が良くならない農家が多い。農地も施設も機械もすべて有償で揃えらるとしたらうまくいく筈がないので、初期投資をできるだけ少なくする
- 融資制度の充実。
- 農業者以外のサラリーマン、商業、工業、2、3次産業の方の家族が家庭菜園できる土地を用意し、様々な作物を作付けし自給自足をしてもらおう。
- 新規就農者には負担が大きいため、従業員から入り、それからよく見極めれば良いと思う。
法人組織とし、第三者でも担い手として経営できる対策。
- 後継者がいなく、切実な問題である。
もし、新規で農業ををやりたい人がいるなら栽培技術や農業機械の使い方等を全て教えて委譲したい。
- 積極的に新規就農者を受け入れてほしい。
畑の整地、農業機械購入に対する幅広い長期の補助体制を確立してほしい。
- 個人の新規就農は難しいと思う。新規就農も含めて、担い手対策はそれなりに打たれてきたと思うが、農業自体が大変厳しく新たな策はなかなか見当たらない。
- 地域(集落)との連携、協力、販売先の情報又はそのパイプ役を支援していくこと。
- 関係機関が十分に協議し、慎重に新規就農者を判断し、対応してもらいたい。
- 後継者がいなく、やめる農家の土地、施設、機械等をそのまま貸したり、初期の負担を軽減できるような対策。住居の提供。
- 賛成。
農家への賃金助成を行い、雇用労働者を将来の経営者へ育てる。国、道等の公的助成制度等の農家への周知。
- 行政、JAはもとより、就農地区の農業者の協力が大切だと思う。
- 若い世代に永住してもらえるような手厚い対策が必要だと思う。
- 後継者にも様々な対応策を考えてもいいのではないかと。
農業女子会という組織を考えてみてはどうか。
- 新規就農者が増えた方が良いが、今の農業経営がとても大変だと思う。
一農業者になるためには、大変な時間が必要だと思う。
- 新規就農者の受入はとても良いことだと思うが、受入側として、まず、壮瞥町の農業者個々のレベル(技術、販売額)をもっと上げなければなにも始まらないと思う。まずは、壮瞥町の行政、農業者が新規就農者、担い手に対し、農業が魅力的で儲かる職業だと認識させることが必要だと思う。
- 新規就農は簡単ではないので、未経験者を不用意に就農させるのは就農者にとっても受入側にとってもリスクが大きい。そのため、壮瞥高校に担い手育成施設を併設させる等して、じっくりと育て、地域に根ざしていくのが良いと思う。
- 担い手のいない高齢者の経営継承に力を入れるべき。長期の経営安定資金の対策。

●これまでの農業経営とは違うやり方を認め、町内に様々な形の農業の形が混在することを善しとする行政の柔軟な対応が、新規就農希望者にとって魅力的な町になると思う。

●農産物の価格安定により農業で安定的に生活ができるような取り組み。

●その人による。

●しっかりとした経営意欲のある人材の発掘と受入農家での実習と実践できる環境での経営感覚の醸成。土地利用型農業の継承のためには後継者のいない農家との第三者継承の取り組みが必要だと思うが、マッチングの難しさ等の課題があるので実習期間の工夫と行政等のサポートが必要。壮警高校との連携と雇用環境の充実。

●本人が強い決意を持ってすることが重要。営農指導、初期投資に対するの援助。

●企業を誘致するべき。

●壮警町には壮警高校があり、農業の担い手を育成していると思っているので、もっと後継者や新規就農者になりやすくするシステムや補助制度を充実させてほしい。また、受け入れる周囲の農業者側もサポートしていきたい。

●資金をもっと多く貸す。

●行政等に進んで取り組んでもらいたい。
どうしても初期投資が大きいので、投資が少なくても新規就農ができるようになれば良いと思う。

●既存の農業経営者に対して、しっかりとした農業振興、施策を打ち出すことが先決。10年後の農業ビジョンを示すこと。その上で新規就農の位置づけを考えていくべき。農業振興施策をつくるための戦略チームを組織することを望む。その為の協力は惜しまない。

⑭問13 2015年農林業センサスの結果では、壮警町における1経営体当たりの農産物販売額は、500万円～1,000万円が38経営体、1,000万円～2,000万円が20経営体、2,000万円以上が20経営体となっています。しかし、道内の73%の市町村では、1,000万円～2,000万円の経営体が最も多く、壮警町の経営体が小規模であることを示しています。このような中、農地の遊休化を防ぐためにどのような施策が必要であると思いますか。また、町の農業施策全般について、要望等がありましたらご記入ください。

回答(回答数22、回答率31%)

●経営面積が少なくても収入がある対策を講じるべき。例えば、道の駅での販売の充実。販売の規制緩和。

●小規模経営体が残るためには、施設園芸しかない。農業技術を指導する人もいない。普及センターも、町も、JAも実際の畑を廻っておせっかいな位の技術指導ができる人が必要だと思う。
府県には、JAに農業技術員という役があり、施肥、防除管理、収穫、出荷まで1戸1戸畑を廻り、指導をする人をおいているJAがある。

●施設を増やし、1種類の作物を主に農家が協力し合って販売すること。

●遊休農地の情報を公開し、法人又は規模拡大を希望する農家に借地斡旋する。
町の対策として、町独自の補助金の強化をし、ブランド商品の手助けをお願いしたい。

●壮警町は耕作面積が少なく、十勝のような農業ではなくハウスでの野菜栽培等、高収入の作物を増やさないとなら販売額は上がらないと思う。
直売所、道の駅の利用等を進めていけば高収益につながるのではないかと。

●農地の遊休化を防ぐために、高齢、後継者不足である農家に補助金を出して専業農家に貸す。

●壮警町は一区画当たりの面積が狭く、加えて近年異常気象が多いので、そのロケーションの悪さを認識

し、その上で何ができるかを考えるしかないと思う。久保内の東側が雲の溜まり場になっており、日照不足の傾向が続いているが、それでも生産性のあるものがあるか検討する必要がある。

●農地の集積を行政又はそれに変わる者が引き受け、時には整備等の支援をしながら、売買、賃借をしてはどうか。

●遊休農地の近隣農家への斡旋。

農家1戸当たりの農地面積は少ない方なので、高収入の作物への切り替えがこれから増えてくると思われる。

そのため、ハウス、農業機械の購入への助成を続けてほしい。

●全国どこの市町村でも特産品がある。壮瞥町もないわけではないが、さらに販路を確保し、PRが必要だと思う。

●農業委員による農地の流動化を協議してもらいたい。

●壮瞥町では、大型農業経営はできないと思う。施設経営が良いと思うが、これも出荷先を確実に販売先等を考えなければならない。

現在、「イエスクリーン」又は「エコファーマー」等があるが、ほとんどの農家を取り入れているため、特別感がなく非常に難しいと思う。

●壮瞥町ならではの(作物、栽培形態、栽培時期)物にもっと重点的に力を入れてはどうか。

●農業経営を維持、拡大させていくには、従業員(パート含む)の確保が重要であるが、農の雇用等の制度は申請等の手間が農業者にとって大変な負担となるので、町のサポートがあれば助かる。

●農地集約が必要。施設経営への転換。

●離農を希望している農家が所有する耕作していない農地についての情報を収集し、規模拡大を求める農家へ情報を開示し、スムーズに売買、賃借できる仕組みを整えることが、農地の有効活用に繋がると思う。

●効率が悪く機械化に適さない農地が遊休化しているため、そのまま放置されるよりは植林(鹿に食べられづらい木)を提案する。

●規模拡大に伴って労力の確保が必要となるが、ハローワーク等での確保が難しくなっている。労働力確保と新規就農対策を組み合わせた対策が必要だと思う。

町内の農地は圃場要件が比較的悪いので、農家負担の少ない圃場整備が必要だと思う。

大規模化の難しい地域なので、高付加価値化を図ることが必要で、農協も含めた販売対策と高収益作物の研究が必要。

果樹の安定的な面積の確立と加工りんご等の作付けによるりんご産地としての産地形成の拡充。

●1,000万円以上の経営体の支援を厚くしてほしい。

●小規模でも高収益作物のブランド化及びPR。

適地適作。集団農法。消費者直結いいもの旨いもの嘘のないもの。

●町や農協による出資法人が遊休農地を管理し、農業委員会の斡旋により借り手を見つけるまで管理する。また、労働力が大変不足している。そのことについても、出資法人が少しでも解消できる動きをしてくれれば高齢化にも対応できるのではないかと思う。

●経営の規模によって作付けする品目を考えることが必要。反収の上がる物を組み入れること、販路や栽培方法等による付加価値向上を図ること等を進める。

交流人口が300万人も来る地域なので、観光、農業、商工の連携を進め、新しい商品やサービス、販路を築くことへ力を入れるべき。

まとめ

今後、経営の縮小、離農を考えている農業者等が、回答の4分の1に上り、このままでは、5年後に115haもの農地が耕作されなくなることが懸念される。こうした状況の中、新規就農者等の担い手対策の強化を図ることが喫緊の課題であるが、新規就農者等について肯定的に考えている農業者等の割合が非常に高く、農地の贈与や住居の提供等、具体的な回答も多かった。町としては、今回の回答を参考に、今後、新規就農者等の担い手確保・育成に対策を講じることとしたいと考えております。

多くの皆様にアンケートのご協力いただき、ありがとうございました。

担当

壮警町経済環境課 農業振興係